

平成29年から、りんご剪定士(高い技能を持つ剪定作業の専門家)を目指し、令和3年3月に認定される駒井敬樹さんをご紹介します。

剪定士としてりんごと向き合い じっくりと経験を積んでいきたい



プロフィール
農業歴：21年
家族構成：妻、子ども2人、父、
母、弟
作作品目：りんご

輝くみらい人



尾上基幹支店管内

駒井 敬樹 さん (49歳)

こまい たかき

○剪定士を目指した経緯

4年前、第7期生の剪定士の方から話を聞く機会があり、剪定士として勉強してみたいと思い、第8期「青森県りんご剪定士養成事業」に参加しました。

○剪定士として認定されるまでの期間について

りんご剪定士になるために、3年間養成事業の講習会に参加し、知識や技術を身につけます。また剪定士には、知識と技術以外にも考え方や心づもりなども大事となり、どのように剪定作業と向き合い、何を学んで人に伝えていくかを考える必要があります。

○剪定作業で心がけていること

全ての作業がりんご栽培にとって重要なものですが、剪定は1年の作業の第一歩なので、特に気を引き締めて行うようにしています。また、品質も大事にしていますが、多くの収穫をめざし、剪定するよう心がけています。

○将来の夢や今後の目標について

農業は毎年条件が違い、先輩方からも一生勉強だと教わっているので、焦らずゆっくりりんご栽培と向き合います。

